

川越市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
平成23年度(2011)～平成32年度(2020)

しんがしがわ

川越市は、江戸城北の守りとして、代々有力大名が配されてきた。また、新河岸川舟運により物資の集散地として小江戸と呼ばれるほどの繁栄を築き、明治26年(1893)の大火の後に蔵造りの町並みの形成に至った。さらに、天海僧正ゆかりの喜多院をはじめとし、多くの社寺を中心として独特の門前の賑わいも創出してきた。近代以降も、城下町の景観や構成に大きな変化はなく、現代に至っている。この城下町に住まう町方、職方、在方が一体となって行われる川越祭りは、蔵造りの町並みを絢爛豪華な山車が巡行する、町を挙げての一大イベントである。これらの、ひと、まち、行事が一体となった歴史的風致は、川越の良好な市街地の環境を形成している。

「物資の集散」にみる歴史的風致

米穀や織物を中心に発展した商業は、県内初の銀行創設に始まり、現代に至る様々な産業と、蔵造りの町並みや洋館など、それぞれの時代を象徴する歴史的建造物とともに商人町の歴史的風致を形成している。



織物市の賑わい



重要文化財大沢家住宅



蔵造りの町並み

「寺社門前の賑わい」にみる歴史的風致

門前界限は、料亭や劇場、さらには、菓子屋横丁など表通りとは異なる歴史的風致を醸し出す。川越のまちの奥行き感は、境内の豊富な木々とともに、こうした門前の存在によって成り立っている。



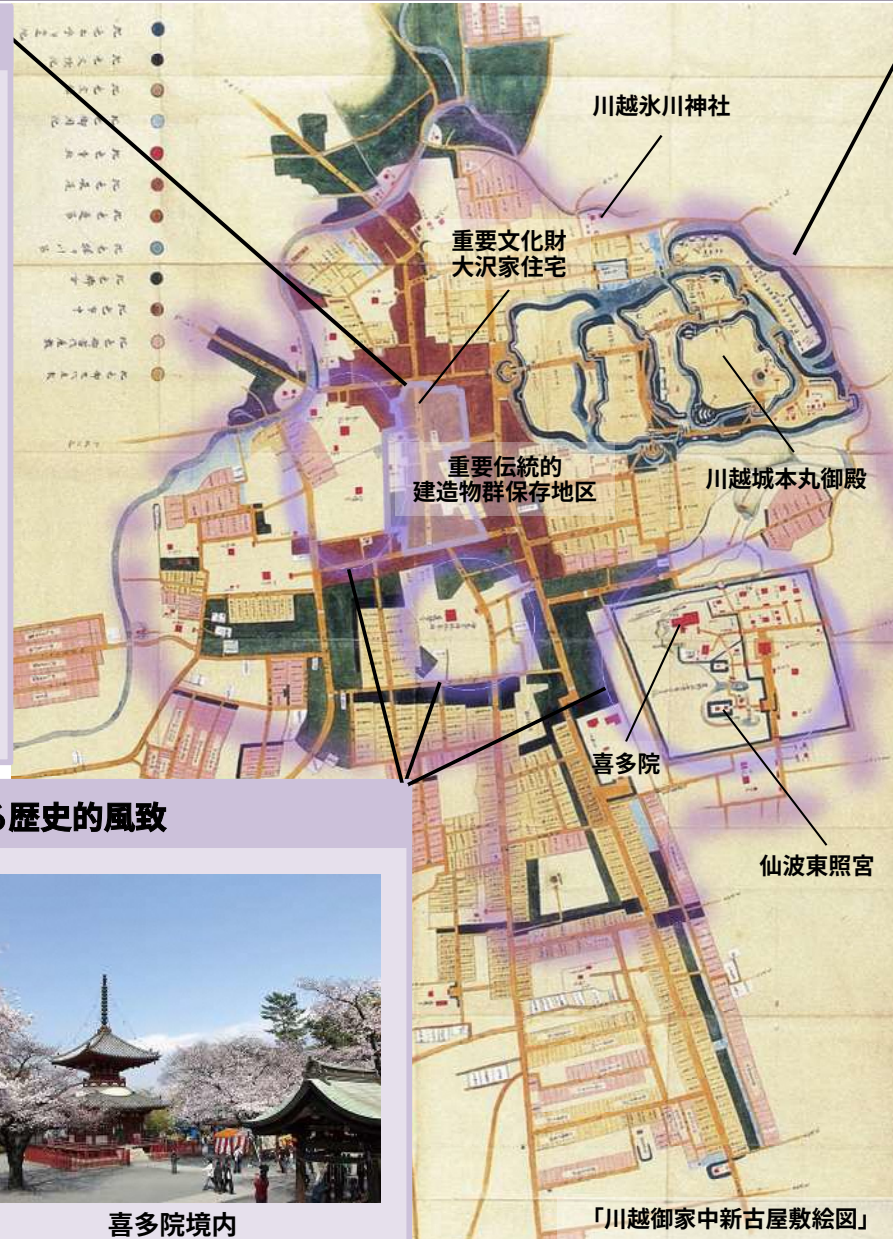
喜多院界隈の町並み



菓子屋横丁



喜多院境内



「川越祭り」にみる歴史的風致

川越祭りは、城下町川越の総鎮守である川越氷川神社の例大祭を起源とし、江戸「天下祭」の様式や風流を今に伝える貴重な都市型祭礼として、城下町の繁栄を担った川越の人々により360年の時を超えて守られ、川越独特の特色を加えながら発展した。蔵造りの町並みを中心に、絢爛豪華な山車が辻で相対し、すれ違うさまは、見る者を圧倒する。



重要無形民俗文化財 川越氷川祭の山車行事



川越氷川神社境内



川越氷川神社本殿

「川越御家中新古屋敷絵図」

川越市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
川越市歴史的風致維持向上地区
約207ha

時の鐘耐震化事業

蔵造りの町並みのほぼ中央に位置し、川越のシンボルとなっている。耐震化することにより、来訪者の安全確保と建物の保存を図る。



旧山崎家別邸保存整備事業

豪商の別邸である建物の修復及び庭園の復元整備を行い、公開する事によって町の奥行きを深める。



旧鶴川座保存整備事業

建物を整備し、催事施設として復活させ、物資の集散地を陰から支えた娯楽の復興を図る。

旧川越織物市場保存整備事業

物資の集散地ならではの交流拠点となるよう、建物の復原整備を実施する。



建築物の修景補助事業

伝建地区を除く川越十カ町地区の建築物・看板に対する新築・改修時の修景行為への補助を行う。

都市景観重要建築物及び景観重要建造物の修理補助事業

都市景観重要建築物等の外観に関わる修理費用に対する補助を行う。

川越氷川祭の山車行事保存会への補助

川越氷川祭の山車行事保存会の活動に対して補助を行う。

川越市川越重要伝統的建造物群保存地区に関する事業

- ・保存整備事業
- ・景観基準に基づく修景補助事業
- ・保存活動事業への補助事業
- ・川越市蔵造り資料館耐震化事業

建築物等の修理や修景行為に関わる費用に対する補助及び保存活動事業に寄与する団体に対して補助する事によって保存地区の歴史的風致の向上を図る。



その他の事業

- ・景観百選・景観ガイドライン等による啓発事業
- ・指定文化財保存対策調査
- ・重点区域内回遊路整備検討調査
- ・都市計画道路見直し調査
- ・歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクル構築調査

歴史的地区環境整備街路事業

石畳風舗装などの美装化により、地区の景観と一体となった歴史的風致の向上を図る。

松平大和守家廟所保存整備事業

川越藩最大17万石時代の藩主の廟所として復原修理に対し補助を行う。



永島家保存整備事業

城下に残る武家地唯一の遺構として修理活用を行い地域の拠点とする。



凡例

- 重点区域
- 十カ町地区
- 伝建地区
- 国指定文化財
- 登録有形文化財
- 県指定文化財
- 市指定文化財
- 都市景観重要建築物等